

レベル	Fundamental		
科目群記号	A	科目群	研究機関と URA
科目番号	2	科目名	日本の URA
研修時間	55 分	実施形態	講義
評価方法	確認テスト（講義とは別に 20 分）		

<概要>

URA の業務を理解するための前提として、国の主導で進められてきた我が国の URA 整備の経過と現在の状況について概説する。そして、これまでの整備によって、URA の業務とスキルがどのように考えられているかについて述べる。また、機関の経営者層、研究者、事務職員、URA 類似職（産学官連携コーディネーター等）との関係を述べる。

<達成目標>

1. URA が我が国の科学技術政策の中でどのように期待され、どのように整備されてきたかを理解する。
2. URA の業務とスキルを理解する。
3. URA として他の職種の人達と連携して業務に携わるために、経営者層、研究者、事務職員、URA 類似職の業務との関係を把握する。

<キーワード>

我が国の科学技術政策の中での URA, URA の業務とスキル, URA 以外の職種との関係

<内容>

1. URA とは
2. URA の配置状況（文部科学省・産業連携地域支援課データ）
3. 我が国における URA 導入の経緯（時系列で整理してみると）
 - ・科学技術基本計画／科学技術・イノベーション基本計画
 - ・文部科学省「リサーチ・アドミニストレーター（URA）を育成・確保するシステムの整備」事業
 - ・文部科学省研究大学強化促進事業・関連団体の活動：RA 研究会, RU11, RA 協議会, RUC
4. URA の業務と求められるスキル
 - ・業務の種類, スキル標準の策定・文部科学省「質保証制度の構築にむけて」
5. 大学等における URA の立ち位置と求められる力
 - ・URA をとりまくステークホルダー（執行部・研究者・事務職員との協働）
 - ・URA に求められる力と引き出し